

研究課題の名称

**人生最終段階における在宅移行支援のあり方  
～退院支援ナースの実践事例から考察～**

**研究の目的及び意義**

洛和会音羽病院 入退院支援センターでは、下記の期間当院に、ご入院になった患者様を対象として以下の研究を行っています。研究に関して詳しくお知りになりたい場合やご意見、ご質問がある方は最後に記載しております。「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

現在の急性期病院の退院支援の課題として、治療を終え最終段階に移行する過程において、如何に意思決定支援を行い、希望される最期の棲み処に安心して身を置けるように支えられる仕組みを作らなければならないと考えています。そのため、今回は、退院支援看護師が自宅見取りを希望され、自宅へ退院できた事例を振り返り、在宅看取りを踏まえた患者の在宅移行支援を促進できる支援の在り方について検討し、今後の退院支援の一助としたいと考えています。

**研究対象者**

入退院支援センターが関わった患者様で在宅での看取りを行った方

**対象期間**

2020年4月1日～2024年4月1日

**方法及び内容**

**電子カルテからの情報収集**

- ① 入院治療期間
- ② キーパーソンの背景
- ③ 在宅サービス導入内容
- ④ 病名
- ⑤ 状態
- ⑤ 在宅医療機器調整状況

**個人情報保護の取り扱い**

利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情報は削除します。

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンと鍵付きロッカーで保管します。研究終了後 5 年間保管し適切な方法で破棄します。当該資料については鍵付きのロッカーに管理し、外部に持ち出されることはありません。その場合も第三者に患者様の個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

**研究への試料・データ使用の拒否と中止について**

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者様の試料・データを本研究に使用す

ることはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

#### **問い合わせ窓口**

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

病院名・部署：洛和会音羽病院入退院支援センター

研究責任者（担当者）：西川さつき

電話番号：075-593-4111